

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 セキ株式会社

コード番号 7857 URL <http://www.seki.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 関 啓三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長

(氏名) 松友孝之

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

TEL 089-945-0111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,935	△4.7	76	61.0	112	34.0	72	103.9
23年3月期第1四半期	3,079	△0.5	47	171.9	83	81.9	35	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 74百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △59百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	17.25	—
23年3月期第1四半期	8.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	13,994	11,514	80.5	2,692.08
23年3月期	14,028	11,487	80.1	2,685.58

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 11,261百万円 23年3月期 11,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,300	△2.8	128	△9.8	183	△10.3	95	△15.1	22.71
通期	13,000	△2.4	450	12.7	537	27.0	300	31.3	71.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	4,508,000 株	23年3月期	4,508,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	324,856 株	23年3月期	324,856 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	4,183,144 株	23年3月期1Q	4,183,300 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結累計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、3月11日に発生した東日本大震災による甚大な直接的被害に加え、計画停電の実施により企業の生産活動の停滞や消費の自粛が生じ、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループの属する業界におきましては、個人消費の伸び悩み、企業の広告宣伝費の削減、企業間競争の更なる激化に伴う受注単価の下落など厳しい経営環境が継続する中、東日本大震災発生の影響により用紙・インキなどの印刷資材の値上げがメーカーより打ち出されており、経営環境の厳しさは増すものと予測しております。

こうした情勢のもと、当社グループでは印刷需要の集中する首都圏・関西圏における営業活動の強化、既存取引先に対する印刷需要の掘り起こしを図るなど、印刷関連事業の業績確保に努めましたが、東日本大震災の影響による需要の減少に加え、紙媒体から電子媒体への移行に伴う需要の変化や企業の広告宣伝費削減の動きに歯止めがかからず、売上高は29億3千5百万円（前年同四半期比4.7%減）となりました。利益につきましては、生産体制の合理化やコスト削減など収益力の向上に努めたことなどにより、営業利益は7千6百万円（前年同四半期比61.0%増）、経常利益は1億1千2百万円（前年同四半期比34.0%増）、四半期純利益は7千2百万円（前年同四半期比103.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①印刷関連事業

顧客ニーズに沿ったクロスメディアマーケティングの強化や大都市圏の取引先に対する印刷需要の掘り起こしに努めたことなどにより、売上高は20億4千4百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は7千1百万円（前年同四半期比9.3%増）となりました。

#### ②洋紙・板紙販売関連事業

長期にわたり印刷需要が落ち込む中、東日本大震災の発生が洋紙販売需要の減少に拍車をかけるかたちとなり、厳しい事業環境下、一部取引先に対し回収リスク回避を目的とした取引調整を実施したことなどから、売上高は2億7千2百万円（前年同四半期比36.7%減）、営業利益は9百万円（前年同四半期比48.1%減）となりました。

#### ③出版・広告代理関連事業

景気低迷に伴う企業の広告宣伝費削減の動きが続き、既存メディアとの競争が激化する厳しい事業環境下、取引先への営業活動を強化し、コスト削減に努めた結果、売上高は3億5千4百万円（前年同四半期比10.4%増）、営業利益は1百万円（前年同四半期は3千1百万円の営業損失を計上）となりました。

#### ④美術館関連事業

セキ美術館では春、夏の所蔵品展を開催、売上高は73万円（前年同四半期比2.8%減）、9百万円の営業損失（前年同四半期は8百万円の営業損失を計上）を計上しました。

## ⑤カタログ販売関連事業

オフィス関連用品通信販売業者に対する売上が、東日本大震災発生の影響や同業他社との競争激化などにより減少し、売上高は2億6千3百万円（前年同四半期比11.6%減）となりましたが、コスト削減など収益力の向上に努めたことなどにより、営業利益は3百万円（前年同四半期比15.9%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3千3百万円減少し、139億9千4百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が23億4千万円と前連結会計年度末に比べ2億1百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ6千万円減少し、24億7千9百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が13億3千8百万円と前連結会計年度末に比べ8千万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2千7百万円増加し、115億1千4百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3千万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月12日公表の通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,114,299	4,292,412
受取手形及び売掛金	2,542,257	2,340,707
有価証券	186,479	303,170
商品及び製品	194,757	226,799
仕掛品	218,020	194,677
原材料及び貯蔵品	79,326	89,185
繰延税金資産	47,254	66,100
未収還付法人税等	7,182	7,323
その他	38,403	39,482
貸倒引当金	△29,855	△27,665
流動資産合計	7,398,123	7,532,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,655,616	2,659,076
減価償却累計額	△1,551,104	△1,569,389
建物及び構築物(純額)	1,104,512	1,089,687
機械装置及び運搬具	4,083,620	4,083,620
減価償却累計額	△3,472,174	△3,506,750
機械装置及び運搬具(純額)	611,446	576,870
工具、器具及び備品	1,579,815	1,624,527
減価償却累計額	△387,250	△389,513
工具、器具及び備品(純額)	1,192,565	1,235,014
土地	1,282,315	1,282,315
有形固定資産合計	4,190,839	4,183,887
無形固定資産	68,140	65,206
投資その他の資産		
投資有価証券	1,823,176	1,701,836
長期貸付金	78,358	62,648
繰延税金資産	3,914	3,723
その他	538,380	515,780
貸倒引当金	△72,618	△70,598
投資その他の資産合計	2,371,211	2,213,391
固定資産合計	6,630,191	6,462,485
資産合計	14,028,315	13,994,678

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,418,528	1,338,414
未払法人税等	90,934	68,282
賞与引当金	74,222	130,339
その他	349,091	346,741
流動負債合計	1,932,777	1,883,778
固定負債		
繰延税金負債	124,701	135,807
退職給付引当金	295,974	273,683
資産除去債務	4,211	4,222
未払役員退職慰労金	175,846	175,846
その他	7,189	6,480
固定負債合計	607,922	596,040
負債合計	2,540,700	2,479,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	9,167,772	9,198,102
自己株式	△475,316	△475,316
株主資本合計	11,227,656	11,257,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,529	3,352
その他の包括利益累計額合計	6,529	3,352
少数株主持分	253,429	253,522
純資産合計	11,487,615	11,514,860
負債純資産合計	14,028,315	13,994,678

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,079,118	2,935,718
売上原価	2,357,791	2,193,572
売上総利益	721,326	742,146
販売費及び一般管理費		
配送費	142,595	146,209
給料及び手当	217,693	216,672
貸倒引当金繰入額	5,815	—
賞与引当金繰入額	20,659	25,614
退職給付費用	6,086	5,972
その他	280,993	271,242
販売費及び一般管理費合計	673,845	665,712
営業利益	47,480	76,434
営業外収益		
受取利息	6,314	5,917
受取配当金	11,439	10,208
物品売却益	8,483	9,239
貸倒引当金戻入額	—	3,729
仕入割引	3,899	2,396
その他	7,795	6,073
営業外収益合計	37,932	37,563
営業外費用		
売上割引	546	634
貸貸収入原価	967	996
その他	42	29
営業外費用合計	1,556	1,660
経常利益	83,856	112,338
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,066	—
退職給付制度終了益	—	24,061
特別利益合計	1,066	24,061
特別損失		
固定資産売却損	—	1,166
固定資産除却損	—	99
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,118	—
特別損失合計	3,118	1,266
税金等調整前四半期純利益	81,804	135,133
法人税、住民税及び事業税	64,256	69,091
法人税等調整額	△15,502	△11,644
法人税等合計	48,754	57,447
少数株主損益調整前四半期純利益	33,049	77,685
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,334	5,524
四半期純利益	35,383	72,160



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,049	77,685
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92,899	△3,054
その他の包括利益合計	△92,899	△3,054
四半期包括利益	△59,850	74,630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,418	68,983
少数株主に係る四半期包括利益	△2,431	5,646

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,028,384	430,751	321,102	758	298,121	3,079,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	133,411	319,065	6,909	—	—	459,386
計	2,161,796	749,816	328,012	758	298,121	3,538,504
セグメント利益又は損失(△)	65,598	19,179	△31,196	△8,040	2,673	48,214

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	48,214
セグメント間取引消去	△733
四半期連結損益計算書の営業利益	47,480

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,044,425	272,463	354,518	737	263,574	2,935,718
セグメント間の内部売上高 又は振替高	125,945	238,223	4,482	—	—	368,652
計	2,170,371	510,686	359,001	737	263,574	3,304,370
セグメント利益又は損失(△)	71,708	9,954	1,296	△9,657	3,098	76,400

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	76,400
セグメント間取引消去	34
四半期連結損益計算書の営業利益	76,434

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

該当事項はありません。